



岩手県立総合教育センター
 〒025-0301 岩手県花巻市北湯口2-82-1
 TEL 0198-27-2711 FAX 0198-27-3562
<http://www1.iwate-ed.jp/>
 平成19年10月17日発行



成人と弱冠と

所長 伊藤 勝

『礼記』*に「二十曰弱、冠」とあって、成人式を挙げ冠を着けるのだと言います。18歳で成人・選挙権の国も多いようですが、我が国が20歳を成人としているのは、遠くこのあたりに発するのだろうかと思えます。

成人は一人前と言うことですが、何を以て一人前と認定するのかは時代や民族によります。

嘗ての「元服」は12歳前後でした。

当センターが、花巻に移転して20年になりました。

「成人」を迎えたわけですが、子には親が、道には先達が在るように、全てに経緯があります。昭和23年の「岩手県教育研究所」の伝統を引き継いでからの歴史は60年を重ねます。

成人の基準は各国各地様々ですが、本来は、年齢や成長ではなく、「集団に貢献できる能力の如何」にあったそうです。

当センターにおけるそれぞれの仕事が、諸先輩の赫々たる成果を引き継ぎ、更に、岩手の教育界に資する、貢献できるものになっているか否か。日頃自らの課題については、目標を定め、努力し、評価し、次の営為を重ねているところではありますが、こうした機会に改めて自省したいものです。



開所20周年を迎えた県立総合教育センター

弱冠には、「若い・未熟」の意もあります。

「弱冠二十歳」は、青年が軒昂たる内心を抱いて、失敗をおそれず挑戦していく姿を謙遜した自称としては許されます。

「能力を成人の基準にすれば、生涯成人できない者が現れるし、年齢を基準にすれば成人待遇してはならない者まで包含される・・・」という長上の嘆きも聞こえてきそうな昨今、60歳・耳順は、既に功成り名遂げた完成の境地であるとしても、翻って、現在の当センターはいかがか。「成人し、二十歳にもなって・・・」と囁かれることのないようにしたいと願います。

*五経、易・詩・書・礼・春秋 の一つ

県立総合教育センター20年のあゆみ

年 度	おもなできごと
昭和63年度	県立総合教育センターを現地に開所
平成元年度	全国教育研究所連盟第13期共同研究事務局を設置、平成3年まで全国研究集会を開催
平成3年度	県立総合教育センター分館を閉館
平成4年度	国立教育政策研究所第5回教育研究公開シンポジウム「これからの学力観を求めて」を共催
平成7年度	社会教育室を閉室し、3部9室体制に
平成9年度	教員研修新体系の実施 インターネットホームページを開設
平成10年度	教育情報衛星通信ネットワーク設備導入
平成13年度	3部9室を、3部6室に改編
平成15年度	新たに指導部を設置、4部6室に改編
平成16年度	研究部と研修部を統合、3部6室に改編
平成18年度	第50回岩手県教育研究発表会を開催
平成19年度	企画総務部・研修部・支援指導部に改編、学力向上担当を新設、3部6室2担当に

岩手県教育研究発表会

平成20年1月8日(火)、9日(水)開催

「新しい時代の学校づくりをめざして」



著名な講師による講演、幼・保・小・中・高等学校及び特別支援学校からすぐれた研究実践の発表がおよそ100主題、県の実態を踏まえ今後の方向性等が示される指導助言、協議を重視したり演習等を取り入れたたりした分科会運営等、有意義な研修の機会になるよう、工夫を凝らして先生方をお待ちしています。

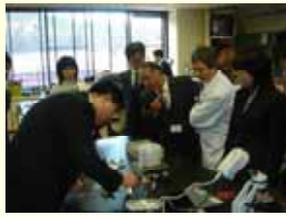
国立教育政策研究所 千々布 敏弥 先生 講演

千々布先生は、最近世界的に注目を集めている「日本における授業研究」の第一人者です。授業研究を活性化し教師の力量を高めることの必要性を、米国での在外研究の成果を踏まえて各地でお話されています。

【主な著書】

- 『スクールリーダーのためのコーチング入門』 - みんなのやる気を引き出す秘策 -
- 『日本の教師再生戦略』 - 全国の教師100万人を勇気づける -

【昨年度の研究発表会】



交通手段は、「花巻駅からのシャトルバス」で！

昨年度と同様、花巻駅からシャトルバスを運行いたします。ご不便をおかけしますが、講演や分科会の内容をより充実させて参りますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

センター所員等の資料は、教育センターWebページに掲載！

事前に研究発表資料を入手できるよう、当センターの所員及び掲載を希望する発表者の資料は、12月末にセンターWebページに掲載します。

掲載した資料は、印字可能です。

なお、発表会当日は、資料の発表要旨を配付する予定です。

研究発表会のお問い合わせ
研究発表会の詳細は、センターWebページや「開催案内」(11月中に各学校等に配付予定)をご覧ください。

【研究発表会事務局：企画調査室】
TEL(直通) 0198-27-2833

総合教育センター 一般公開 11月3日(土)

11月1日は「いわて教育の日」です。当センターでは、これに合わせて11月3日(土)文化の日に一般公開を行います。

おもしろ理科実験、パソコン教室、教育相談など、工夫を凝らして先生方や小・中学生、高校生、保護者の皆様をお待ちしています。

同僚やご家族と一緒に、当センターを見学してみませんか。

【昨年度の公開風景】

【お問い合わせ先】 企画調査室 0198-27-2833



冬季公開講座のご案内

今年度は、次の6つの公開講座を開講します。多数の先生方の参加をお待ちしています。

実施日：12月26日(水)

講座番号	講座名	担当室	日数	定員	小	中	県立
608	電子工作基礎	科産	1日	10	4	4	2
610	化学実験基礎	科産	1日	10	4	4	2
611	複式指導	教領	1日	30	30		
614	構成的グループエンカウンター	相談	1日	30	10	10	10
618	心理検査「PER-R(実施方法)」	特支	1日	16	8		特8
620	心理検査「K-ABC(実施方法)」	支援	1日	20	幼2小10	3	特5

【講座紹介】

「電子工作基礎」

電子工作及び電子部品の基礎知識を習得することが本講座の目的です。そのために、研修者のスキルには十分に配慮し、共通に製作する題材と選択題材を準備します。具体的には、ストップウォッチ、マウス、LED、ペルチェ素子などを用いて、理科の授業で活用できる教材製作を行います。「ものづくり」の楽しさを一緒に体験してみませんか！

「複式指導」

小規模・複式指導の学習指導における二個学年の学習内容を効果的に関連させる指導方法について、講義と演習をとおして実践的に研修します。

年間指導計画(単元配列)の作成や教育課程の編成の工夫など、次年度の計画に備えた研修も行います。3学期、そして次年度に向けて一緒に準備を進めましょう。

【申し込み方法】

「教員研修の手引」様式8のほか、総合教育センターWebページからも申込ができます。

締切は11月21日(水)です。締切後でも定員に余裕があり申込可能な場合がありますので、ぜひお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 情報教育室 0198-27-2254

公開講演のご案内

最新の情報・動向にふれてみませんか！

次の講演については公開しますので聴講が可能です。聴講を希望する場合は、各学校に配付済みの「教員研修の手引」様式11により、直接センターに申し込んでください。

月日(曜)	時間	講座番号・講座名・講演題等	講師
1月23日(水)	10:00~12:00	【130】特支10年研 軽度発達障害児の理解と指導	岩手大学 教授 菅原 正和

教育相談のご案内

～一人で悩んでいないで相談してみませんか～

教育相談室では、児童生徒や保護者、教職員等に対して、電話による相談、来所による相談、メールによる相談を行っています。児童生徒の状況に応じた具体的な支援になるよう努めています。

今回は、最近の相談状況や受付方法などについてお知らせします。

電話相談、来所相談の状況

	平成17年度	平成18年度
相談受理件数	288	306
延べ来談件数	479	477
延べ電話相談件数	844	857
延べ相談件数	1,323	1,334



**「ふれあい電話」
(直通)
0198-27-2331
(9:00～17:00)**

受付方法

来所相談は、児童生徒・保護者・教職員等の三者そろっての来談を原則としています。申し込みは、家庭、学校、教育委員会などからの電話による予約です。

相談日時は、祝祭日を除く月～金曜日で、来所相談は9:00～16:00です。

電話相談は9:00～17:00です。

「どようび相談」も受け付けています。来所による相談です。相談日は原則として、第2、第4土曜日です。(5月～11月)

相談は無料とし、相談内容の秘密を厳守します。

相談内容 < 学校生活に関すること何でも・・・ >

- ・進路や学習について困っている
- ・学校に行けない
- ・友だちとうまくかかわれない
- ・性格や行動が気になる
- ・家庭内暴力を振るっている
- ・性に関して悩みがある
- ・非行や怠学で悩んでいる
- ・拒食やリストカットをしている など

「教育研究岩手 第95号」近日刊行

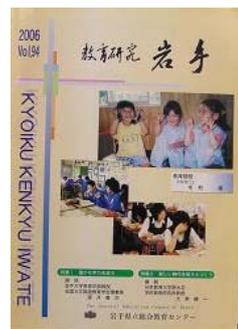
特集テーマ 「いま、求められるキャリア教育とは」 「校内研修・研究の活性化」

「教育研究岩手」は、国の教育施策や社会的な状況を踏まえ、岩手県における教育課題の解決のため、特集テーマを設定し、教育研究情報誌として毎年刊行しているものです。

第95号は、教育随想としてフランス料理シェフ三國清三氏、特集テーマに関わる提言としてジョブカフェ関エリアジョブコーディネーター金野馨氏と80エンタープライズ・INC代表取締役八丸由紀子氏に御寄稿いただきました。

また、教育関係機関の諸先生方からの論説、現場の先生方の実践事例、開発教材等を紹介しているほか、当センター所員による日常の学習指導や教育相談のポイントを指導の要点Q&Aとして掲載しています。

近日中に県内各学校や県内外の教育関係機関に配付しますので、どうぞご利用ください。



教育研究岩手
(第94号)